



七夕の笹を燃やし、、、
みんなの願い、天に届け！

☆夏祭り

今年は前日の大雨の影響もなく、過ごしやすい気候のもとで夏祭りを行うことができました。夏の夕暮れに、園児、卒園生、保護者の皆さまと共に楽しく過ごせたことを嬉しく思います。子ども達も、大勢の皆様に見守られ、盆踊り、御輿かつきを、元気に行うことができました。お手伝い頂きました保護者の皆様、業者の皆様、有り難うございました。

今年の夏祭りは幾つかの変更点がありましたが、一番の大きな変更は打ち上げ花火がなくなったことでしょうか。1年前のYurikago通信でも可能性について触れておりましたが、森の広場に棲む様々な野生動物のことを考えて取りやめる事と致しました。既にご案内の通り、卒園生が昨年設置した巣箱にムササビが棲みつき、夫婦で子づくり、子育ての真っ最中であることがわかりました。ムササビは夜行性ですので日中は巣箱で寝ていますが、それでも時々、保育中に巣箱から顔を出したり滑空する様子に子ども達も出会うことがあります。

ムササビが子育てのできる環境が園庭にあるということは、とても珍しく貴重なことです。元々、隣接する八王子市、町田市の森に棲息しているかもしれないということは聞いていましたが、園庭の「森の広場」に棲みつくには、巣箱の設置だけでなく、日常的に安全な環境であることが保証されているということも大切でしょう。花火で驚かせてしまうのでは無く、落ち着いた環境でムササビにも子育てをして欲しいと思っています。何せ私たち人間こそ、後から森にやってきてお邪魔している「侵入者」なのですから…。

これからも豊かな自然から多くの恵みをいただき、子ども達の成長のために活かすことができるという「有り難み」を忘れずに、保育を行って参ります。

花火は是非、八王子花火大会をご家族一緒にお楽しみ下さい！！



☆西日本豪雨に思いを寄せて

西日本を襲った豪雨による被害は、自然の恐ろしさと命の儚さを感じさせます。被害に遭われ亡くなられた皆様のご冥福をお祈りし、被災地の早期の復旧を願います。

西日本に限らず、どこで起きてもおかしくない異常気象は、天災に対する備えを改めて考えさせます。当園でも、豪雨に備え、普段から敷地内の雨水排水溝、雨水マス、雨樋などの点検、整備を行っていますが、ここ数年の豪雨を経験し、より安全性を高めるために、雨水溝を増やして排水能力を高めるなどしております。

また、園庭の棚田や池、小川には豪雨の際に大量の雨水を一定時間貯めておく機能があります。たまった雨水は、ゆっくりと土壤に浸透し、近隣の川（兵衛川）に流れていきます。そのため、棚田にも池や小川にも、水底には防水シートなどを敷かず、浸透し

やすくしています。こうした日本古来から伝わる水循環システムによって、棚田、小川、池の自然環境を活用し雨水に対する備えをしています。

しかし、どんなに環境や機能を整えてもメンテナンスを怠れば災害に繋がります。人間が作ったものは人間が点検、整備し続けられない限り、機能不全に陥ります。例えば、棚田の「畦塗り」を毎年鉄腕クラブで行いますが、これには、田んぼを補修して貯水機能が損なわれないようにするという意味もあります。

更にはこの異常気象…。どんなに備えをしていても自然の前に人間は無力です。

9月は防災月間。9月3日には大地震を想定した引き渡し防災訓練を行います。いつ起きてもおかしくない地震、豪雨、台風、、、様々な自然の猛威を想定し、自然への畏怖の念を忘れずに、備えていきたいと思えます。どうぞ防災訓練へのご理解ご協力をお願い致します。

一学期終了に際し

本日、1学期が終了致しました。皆様の温かいご支援、ご協力により、無事に終了することができましたこと、心より感謝申し上げます。

明日から長い夏休みに入ります。幼児期の夏休みの体験は大きくなってからも記憶の奥底に強烈に残ります。夏休みならではの体験、子どもの興味をくすぐる出来事にお時間をさいて頂ければ幸いです。

また、併せてお願いしたいのは、毎日の生活習慣についてです。「早寝・早起き・朝ご飯」の大切さについてはご承知のことと思いますが、これができる初めて「様々な体験」が生きてきます。「穴の空いたバケツに水を入れても意味がない」、よく先代の副園長が申しておりましたが、生活習慣というしっかりとした器を、水漏れしないように維持することが大切です。

2学期の「退後現象」（成長の逆戻り）については毎年お伝えしています。1学期間に大きく成長されたお子様が、2学期になって極端に甘えたり、急に物事に対し消極的になったり、或いは「幼稚園に行くのを嫌がる」ということもあります。

主な原因として、、、

- ① 休み中の生活習慣態度（これが一番！早寝早起き等規則正しい生活が送られているか）
- ② 休み中の遊び、触れあい（お友達とよく遊んでいたか。家族でふれあいが持てたか）
- ③ 休み中のご両親の接し方（我が儘をききすぎ、何でも親がやっちゃったり、甘やかしすぎているか）

等があり、学年を問わずよく起こり得ることです。せっかく1学期にお子様も大きく成長されたのですから、スムーズに2学期をスタートさせ、更なる成長を遂げることができるよう、ご家庭でもご留意頂き、夏休みをお過ごし頂ければ幸いです。

夏期保育には遅く成長した子どもたちと再会できる事を楽しみにしております。2学期も宜しく願い申し上げます。皆様も健康に留意され、素敵な夏をお過ごし下さい。

七夕…願いを込めて

夏祭りでも飾った七夕の笹飾り。9日に燃やし天に願いを届けました。



全園児でカレーパーティー

年少は園で穫れたタマネギの皮むき。年中はニンジン切り。年長はタマネギとジャガイモ切り。みんなで協力して美味しいカレーライスを作りました。全園児の心のこもった美味しいカレーでした！



切った野菜くずはコンポストへ。

カイコ

全クラス、繭になりました。一部は羽化した様子、卵を産む様子も観察し、他は糸つむぎや繭玉製作ができるよう繭を冷凍致します。



ヤマモモ

今年もヤマモモが沢山なり、よくいただきました！年中はクッキングでジャムに！



年少フィンガーペインティング

年少さん恒例のフィンガーペインティング。絵の具の感触が気持ちいい！



年少クッキング ニンジンカップケーキ

年少のクラス前の畑で育てていたちょっとかわいいニンジンさんを収穫して、カップケーキを作りました！蒸かしたニンジンを手で揉んで柔らかくし小麦に混ぜ合わせピザ釜で焼き上げました！自然と笑顔になる美味しいカップケーキでした！



年中クッキング 「麦作～ヤマモモ・クワの実クッキー」

収穫・脱穀し石臼で挽いた小麦をこねてクッキーを作りました。園庭のヤマモモとクワの実をジャムにして挟んでいただきました！すべて園庭で育て採れた「自然の恵み」！体に良く、とても優しい味でした！年少の11月から8ヶ月かけて行ってきた一連の麦作活動はこれでゴールとなります！よくがんばりました！来年は稲作ですね。



年長 小川・池の掃除と生きもの調査

小川と池の清掃をしました。ヘドロを取り除き生き物を救出したり、池では職員がガマを刈り、こどもたちが草を運びました。こうした活動すべてが子どもにとっては遊びでもあります。ご家庭でも夏休みに子どもが楽しんで参加できるような労作に挑戦してみてください。庭仕事、大掃除、洗濯物たたみ、新聞取り、、、子どもに出来る事、、、たくさんありますよ！



★★★年少・年中の園外保育やその他の活動はブログでご覧下さい!!